

ちよーぴーのI♡銚子

～銚子の魅力を発信するちょ～

7つの顔を持つ男 第1回 いけ けんいち 池田健一さんの巻



ちよーぴーの訪問にとまどいを隠せない池田さん(右)

8月に市の公認キャラクターに任命されたちよーぴーだちょ！任命早々市の広報担当にこき使われてるちょ～。そんなわけでこれから、ちよーぴーが見つけた輝いている人をご紹介！記念すべき第1回は、池田健一さん。

池田さんは、奥さんの実家の家業である廻船問屋を継ぐために12年前、東京から移住。現在はこのほかに、デザイン会社パームデザインや喫茶と雑貨のお店grisを経営、さらに、市内のロケ地を案内するロケーションコーディネーター、そして夫、パパ、商工会議所青年部副会長と実に多彩！ただものではないちょ～

そんな池田さんが移住当初感じた銚子の印象は、食べ物ごとにかくおいしいこと！なんと一か月で8キロも太ったとか。また、銚子は観光資源や環境のポテンシャルがとても高い！とも。銚子の良いところを見つけてくれて、いっぱいほめてくれてうれしいちょ～

魚だけじゃない銚子の魅力を、市内外に呼びかけていきたい！と言う池田さんは、ちよーぴーのラインスタンプの生みの親でもあるんだちょ。

これから柔軟な発想と豊かな感性を活かして銚子の魅力を発信してちょ★

■池田さんのお店

中央町13-5 大勝堂ビル2F
株式会社パームデザイン
☎(24)4717
gris(喫茶と雑貨のお店)
☎(26)3221
カフェは曜日ごとに料理提供者が変わるのが特徴。



協力/銚子商工会議所青年部



防波堤のカモメ

多いときには数万羽も
集まるよ！



銚子漁港を囲むように造られた約4kmの防波堤。ここはカモメ類の越冬地として有名で、全国でも最大規模の渡来地です。

■川(銚子漁港)

銚子の磯には、ヤドカリ・イソギンチャク・魚の稚魚・ヒトデ・ウニ・タコ・カニなど、多種多様な生き物が生息しています。

■全国有数のカモメの越冬地(利根川)

地球にはさまざまな地質・地形・環境があり、生き物はそれぞれに対応して生活しています。銚子ジオパークでも銚子の特性に適應した生き物たちを観察することができます。

■海の生きものと触れ合える磯(海鹿島、長崎鼻ジオサイト)

海岸の植物たち(犬吠埼、犬岩・千騎ヶ岩ジオサイト)

常に強い潮風にさらされる海岸は、植物にとって厳しい環境。そこで育つ植物は、厚い葉や葉の裏に密生した毛など特有の形をもっています。

■数百年も自然のままの林(渡海神社、猿田神社ジオサイト)

渡海神社、猿田神社の林は、数百年もの間、人の手が加わらず自然のまま育った林です。このような植物群落の移り変わりが安定した林を「極相林」といい、その地の気候などで種の組み合わせが決まります。例えば、海に近い渡海神社の林は、シイ・タブ型、海から離れた猿田神社の林は、スタジイの極相林です。みんなも銚子ならではの生き物を探しに、出かけてみましょう！



イソギク

10月～12月に黄色い花を咲かせます。葉は厚く、裏に毛が密生しています。銚子が北限。

ジオツァーにでかけよう！

銚子ジオパーク 問合せ
銚子ジオパーク推進協議会事務局 ☎(24)8911

